

# ふくしの森ステーション かじ だより

発行：飯能市社会福祉協議会/ふくしの森ステーションかじ（加治東地区行政センター内）  
電話：070-7792-2423（不在時は本部へ転送されます。） /ファクス：050-3156-2236  
メール：station-kaji@hannosyakyo.or.jp

“ふくしの森ステーション”は地域の何でも相談窓口です。

（開所日時：火～金曜日（祝は除く）9:15～16:15）

- ・社会福祉協議会職員のコミュニティソーシャルワーカーが活動する地域の拠点です。
- ・地域福祉活動を支援します。

## えんがわサロン松原～宿題をしよう！～ オープン！

加治東ふれあい広場が開いている「えんがわサロン松原」を、子どもたちが思い思いに過ごせる場として開放することになりました。

宿題をしたり、本を読んだり、遊んだり、おしゃべりをしたりしながら自由に過ごせます。友だちと宿題したいとき、だれかに宿題をみてほしいとき、ホッとしたいときは「えんがわサロン松原」にきてみませんか？

日にち：毎週水ようび

ばしょ：えんがわサロン松原

（飯能信用金庫加治支店 道向かい）

じかん：夕方 4時30分から6時

参加費：無料（むりょう） 持ち物：自分の飲み物

※子どもたちだけですが、帰りはおとなの方のおむかえをおねがいします。

※時間内であれば、来る時間、帰る時間は自由

※加治東ふれあい広場のボランティアが、子どもたちを見守ります。

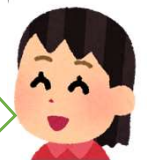


～宿題をやろう！～の一日（例）

- 4時20分 ボランティアさんが会場をあけます。
- 4時30分～ “宿題をしよう！”スタート！
- ①はじめに宿題をします
- ②終わった子から遊びます！
- トランプやおえかきなど遊びは自由！
- 6時00分 みんなで片づけをしてお家にかえります

以前から「家庭でも学校でもない居場所が、子どもたちにもあるといいね」と、話し合いを重ねてきました。この6月から試験的に活動を始め、参加をしてくれている子どもたちの笑顔も増えてきました。いよいよ本格実施です！これからも加治東ふれあい広場のスタッフ、来てくれる子どもたちや保護者と話し合いながら活動を充実させていきますので、皆さんの参加をお待ちしています。

むずかしいところは、大人がいっしょに考えてくれるので、宿題がはかどります。大学生がきてくれると楽しいです。一緒にあそんだり勉強したりする友だちがふえるとうれしいな！



“宿題をしよう”がある水曜日は、ほかの曜日とくらべて、前向きに宿題に取り組む気持ちが強いみたい。自分で準備をして、会場に向かうんですよ！

## えんがわサロン松原～宿題をやろう！～ ボランティア大募集！

大学生・高校生などの学生のボランティア大歓迎！

加治東ふれあい広場では、この「宿題をやろう！」を手伝ってくれる地域の方を募集しています。若者大歓迎ですが、もちろん年代を問わず子どもたちと関わりたい方であればどなたでもOKです。ご協力いただける方は、加治東ふれあい広場でボランティア活動保険に加入しますので、安心して活動していただけます。

**参加・ボランティア希望等の問い合わせ**

ふくしの森ステーションかじ 070-7792-2423

## 災害義援金 受付中です！

埼玉県共同募金会飯能市支会（事務局：飯能市社会福祉協議会）では、今夏、東北地方を中心に発生した大雨災害をはじめ、各地の大規模災害に対する災害義援金の受付を行っています。お寄せいただいた義援金は被災市町村を通じて被災者に配分されます。詳しくは下記QRコードからホームページをご覧ください。みなさまの温かいお心遣いをお待ちしております。

詳しくはこちら



“ふくしの森ステーションかじだより”は各自治会のご協力で回覧していただいています。

# 地域ふくし発見!

地域福祉に関する素敵な取組みをふくしの森ステーションのCSW（コミュニティソーシャルワーカー）が取材・発信していきます。

## 独占インタビュー

# 「にちにちのはら」

聞き手：CSW小林(愛)

今回ご紹介するのは自然や人とのふれあい、体験が育てるしなやかな体と愛情に包まれた暮らしをモットーとする認可外保育園・フリースクール・プレーパークの「にちにちのはら」さんです。広い野原の園庭の中で、スタッフの方にお話をお聞きしました。

## にちにちのはらの“自然感覚体験保育園”はどのような取組みですか？

スタッフさん「乳幼児期の子どもたちは、全身が感覚器官だと言われています。土・水・火・風・空を感じながら、小さな生き物や植物たち、四季折々の自然と近しく触れ合い、自分の体で外界と出会っていくことは子どもにとって喜びです。日々変化する自然の多様性の中に身を置き、内側から好奇心や意欲がわき出て集中して遊びこんだり、友だちとのびのび交わるような体になっていくことを見守ります。大人の社会の雑多な出来事から愛情の覆いで守られ、早起き早寝ですくすく元気に！どの子ども自分らしくそのまんまを喜ばれながら日々を遊びきる、にちにちのはらの子どもの世界を、お父ちゃんお母ちゃんたちと学び、悩み、笑い合いながら支えていきたいと思っています。」



## にちにちのはらの“フリースクール”とは？

スタッフさん「山を歩いたり、川で泳いだり、釣りしたり…。春の野草を摘んで天ぷらにして食べたり、秋の栗を拾って、火をおこしてゆでて小さい子たちと分け合ったり…。自然の移り変わりを肌で感じながら、その恵みの中で、遊び、学び、暮らす。体を動かして元気な自分を感じたら、目の前の『越えられそうもない壁』が案外なんとかなりそうと思えてきたり、いつのまにか気にならなくなったり、自分のペースをつかめてきたりする中で、自分でいいんだと感じられるように、その子らしくいられることを応援しています。」



## 「にちにちのはら」の情報

【施設名】にちにちのはら

【住所】〒357-0066 飯能市小岩井603

【プレーパーク】毎月第3日曜日10時～15時  
まずはプレーパークに遊びに来てください

【認可外保育園】月～金 8時半～16時

【フリースクール】月～金 8時半～16時  
詳しくはHPをご覧ください

<https://nichinichinohara.com>

【問い合わせ】☎090-1434-1453

(代表：姫野千鶴子)

✉2121nohara@gmail.com

※メールのお返事は数日かかる場合もあります

【取材を終えて】人生の先輩であるスタッフさん達に守られて、子ども親も安心できる場所だと感じました。取材にご協力いただき、ありがとうございました！

## “もっと子どもの居場所を増やしたい” CSWは子どもの居場所づくりに協力します

放課後、遊びに行く場所が無い子ども。学校以外の行く場所が欲しい子ども。今、子どもの居場所は子どもに必要とされています。子どもにとって居心地のいい場所は、地域にとっても居心地のいいものかもしれません。

子どもの居場所に関する相談や情報があれば是非、お近くのふくしの森ステーションにお声掛けください。